

Withコロナへの対応

千住金属工業グループは、事業継続が製造会社の社会的責任であると考え、これまでBCP（事業継続計画）対策を進めてきました。Withコロナの時代においても、その考えに基づいて事業継続を成し遂げられるよう、昨年から継続・発展したさまざまな取り組みを実施しています。



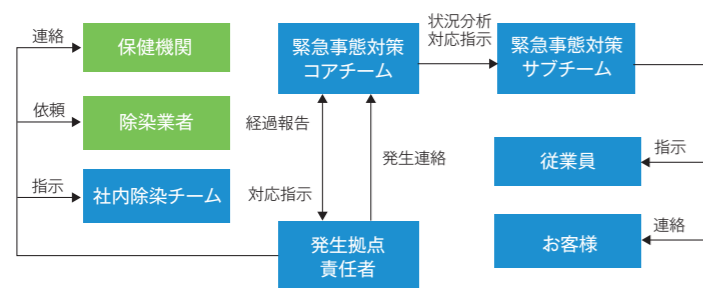
COVID-19陽性者発生時の対応体制

COVID-19 陽性者発生時に速やかな対応が行えるよう、陽性者発生時の対応ガイドラインと対応体制を構築しました。また、事業継続体制の仕組みを活用することで、長期にわたり休業者が発生した場合でも、お客様への製品供給が継続できるように備えています。



陽性者発生時の対応体制組織図

対応組織および社内除染チームを編成し、速やかな対応と現場復旧に努めています。



「グループ応援システム」を導入し事業を継続できる体制を構築

技能・技術を持った人材の適材適所な配備をグループ会社間でスムーズにできるようにしました。社会ニーズに合わせた技能・技術力の有効活用と従業員の雇用維持を図っています。



リモート技術による新しい形のコミュニケーション

お客様との面会や大人数での会議等が難しいなか、リモート技術の活用による新しい形のコミュニケーションのとり方をさまざまな場面で推進することで、円滑なビジネスの継続を図っています。

ライブ配信システムによるお客様への製品デモ・実験の配信

COVID-19 の影響により、これまでの営業にも変革がもたらされました。これまで自動はんだ付け装置の販売には、お客様に本社にきていただき、製品デモや実験を行うことが欠かせませんでした。COVID-19 の影響でそれが難しくなるなか、ライブ配信システムを用いることにより、リモートで行うことが可能となりました。



ライブ配信システムによるリモート監査対応

年間多数実施される顧客監査もライブ配信システムにより、お客様に訪問いただくことなくリモートで受審できるようになりました。また、社内監査でもライブ配信システムを活用することで、拠点間を移動することなく実施できるようになり、業務効率化にもつながっています。

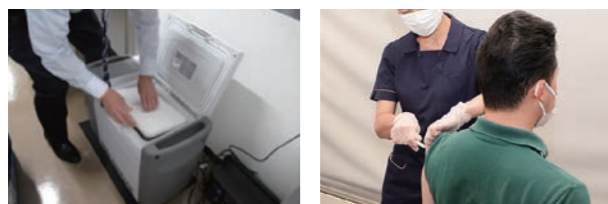


予防対策の取り組み

従業員の安全と健康を守るため、職域接種による早期ワクチン接種の支援や、昨年から実施している感染予防とソーシャルディスタンスの確保に加えて、新しい機器の導入による予防対策の強化を行っています。

産業医と連携しワクチン接種を支援

職場でのワクチン接種の機会を、希望する従業員とその家族に提供することで、夏の間 COVID-19 感染リスクを下げる努力を千住金属工業グループとして行いました。



従来からの消毒、ソーシャルディスタンスの確保、移動制限に加え予防対策を強化

施設入口に非接触体温測定器の導入



CO₂モニタリングによる換気の促進



テレワークの促進と分散勤務の強化

テレワーク対象者を拡大するとともに、テレワークにおけるセキュリティ対策の強化を行いました。また、オフィス分散の強化とフレックスタイム導入により COVID-19 陽性者発生時の影響の限定化を図っています。

Web会議によるリモート営業

会議室需要の増加に応え個室ブースを導入しました。



オフィス分散の強化

営業・間接部門の本社、草加事業所、栃木事業所への分散に加えて、各拠点でのビルディング・階層分けを進めています。

